

番号	領域	書名	著者名	所属等	発行年月	備考
29	親の会	親の会のありかたを求めて	跡部 俊之	北海道教育大学	H 8 . 3	4 0 0
主な内容 <ul style="list-style-type: none"> 親の会発足当時、昭和40年代からの親の会と関わってきた著者が、会報「ことば」やパンフレットやその他の資料を基に、会のあゆみ、その時々課題そして歴史を眺め、意義をかたり、そしてこれからの親の会のあり方について述べている。 詳しくは、目次をご参照ください。 						
目次 <ol style="list-style-type: none"> はじめに 親が学習することの意義 <ol style="list-style-type: none"> 何のために学ぶか どのような事を学ぶか どのような学び方をするのか 学ぶことで何が得られるか 学習の基本姿勢 これまでの親の会活動を通して <ol style="list-style-type: none"> 親の会発足の頃 親の会の “心” 親の成長と親の会 親の会とことばの教室 親の会の役割 親の会の足跡を 「ことば」 でたどる <ol style="list-style-type: none"> 必要から生まれる親の会 親の会の “悩み” とジレンマ 親と子と教師の “絆” ……以下略… これからの親の会を考えるために <ol style="list-style-type: none"> ことばの教室存在の意義 子どもは果たしてよいサービスをうけているか ……以下略 おわりに 						
ひとこと… <ul style="list-style-type: none"> 著者は、昭和40年代の発足当時から全国親の会と関わっています。これまで教師として地域や全国の会に関わって体験を基に、親の会の基礎的・基本的なあり方について真正面から問うていきます。 今、特別支援教育のときを迎えて、ことばの教室のあり様、親の会のあり方を再度考え、方向性を探るときに必読の一冊です。 						
このパンフのおすすめ… *未だ、寄せられておりません。 【よろしかったら、お読みになって「パンフのすすめ」を、図書館トップページのEメールアドレスにデータを入力してみませんか】						
備考						

